



創業支援

講座なども開き、語り合える空間にしていく予定だ

商品は、買取と委託の二本立てで行っている

会いがどれほど嬉しかったか」と小牟田さん。鹿児島市に戻った小牟田さんは、歌手AIさんの母であり、イラストレーターやボランテアとしても活躍するバーバラ植村さんの子育て講演を聞いて大きな影響を受けます。「寂しさや不安の中にいた私が救われたように、自分も人を元気にできる存在になりたい」と考えた小牟田さんは、人が繋がる愛あふれた場作りを夢見るようになったのです。子育てを中心にしつつも、飲食や販売の

無料の経営相談所
鹿児島県
よろず
支援拠点
NEWS

愛ある作品と出会い
人と人が繋がるカフェ
創業への道のりは人それぞれですが、10年来温めてきた夢を実現したのは、小牟田美和子さんです。陶器や雑貨、洋服などの手作り作品を販売しつつ、温かい交流の場となるカフェをオープンしました。その原点は、夫の転勤先である離島での孤独な子育てでした。「寂しくてたまらない中、相談できる保健師さんとの出

トダウン、採算の取れる委託条件の決め方など、次々に発生する課題にひとりでは立ち向かわなければならぬ中、信頼できるコーディネーターとの出会いは大きな支えとなったとのこと。「プロに何でも相談できることが、どれほど心強いかと、足繁く相談に訪れる小牟田さんと共に、スケジュールを確認しながら伴走を続けました。開店すると、初日から来客でにぎやかな店内。お客様でも、新たな出会いが紡がれることを期待する小牟田さんです。

来た人が元気になる
そんな場所になりたい!



小牟田美和子さん

芸術と癒しの森 尊 mikoto

鹿児島市郡元3-1-2 池田ビル
tel.099・256-8588

アルバイトや陶芸教室通い、起業予定仲間との交流など準備を重ねてきましたが、子育てが一段落した今年を目標に定めます。奇しくも長年患っている緑内障が進行し、60歳で失明との辛い診断を受けますが、だからこそ今だと奮起して走り始めました。熱い思いがあり、応援する仲間もあるものの、経営視点での創業ノウハウは皆無。そこでよろず支援拠点にアドバイスを求めました。見込み集客の予測化、仕器のコス



創業に向けてのスケジュールリングもサポートした



「心のこもった品を扱いたい」と小牟田さん

(公財)かごしま産業支援センター 鹿児島県よろず支援拠点

CC:加藤剛/SCC:山之江清子/C:向江隆行・森史憲・堂免正志・小平田貴子・鎌田香・松田貴志・新地美沙・武田清孝

tel.099・219・3740 ✉ yorozu@kric.or.jp

鹿児島市名山町9番1号(産業会館1階)/FAX.099・223・7117/営業時間 平日8:30~午後5:15

